

作品研究) 社会実装を目指した作品研究の報告 —作品「Aurivida : アウリヴィダ」についての報告—

Report on Research for Social Implementation of Artworks —Report on the Artwork “Aurivida”—

進藤葵¹⁾ 大野淑子²⁾ 菊池信二²⁾ 西将隆²⁾
栗本佳典²⁾ 阿部高広²⁾ 富田知子²⁾

抄 録

本学専攻科2年間の学びと習得した技術を基に、人体表現としての作品「Aurivida」(Auriはラテン語:金、黄金(輝くイメージ)、Vidaは、スペイン語、ポルトガル語で、命、生命を表し、それらをあわせた造語)の制作を行った。大きなテーマは、アール・デコを基にした直線的な強さと繊細さである。制作にあたり、衣装は森山陽氏によるトップスを採用し、そのコンセプトからイメージをさらにかため、自由に飛び立つ蝶をメインイメージにしたデザインとなった。最終的に、ヘアと衣装とモデル、撮影技術を含めて、コンセプトである芯に強さを秘めた女性のイメージ表現が完成した。

キーワード: アール・デコ 幾何学的 モノトーン 前衛的 モダン

I. はじめに

今回専攻科2年間の学びで獲得した技術等を用いて、作品制作を行った。制作は1年次の「デザイン演習Ⅰ」でのアール・ヌーボーおよびアール・デコをテーマにデザインの持つ意味について学んだことを活かして、メイクデザインした。そのコンセプトをベースに「美容デザイン演習Ⅱ」および「美容芸術研究」において、人体表現としてさらにトータルな創作に着手した。創作にあたり文化服装学院のデザイナーにコンセプトに沿った衣装提供を依頼し、お互いのデザインコンセプトの協議を行い、デザインを完成させた。さらにイメージにあったモデルへの依頼とコンセプトの説明を行った。次に、写真指導の教員と協議を行い、ライティングの設定をし、撮影を行なった。

- 1) 美容デザイン演習Ⅰ:ここではアール・デコを選択し、メイクをウィッグに行った。(写真1.2)
- 2) 美容芸術研究:アール・デコを大テーマにおいた人体表現としての総合デザインコンセプトの構築にあたり、アイデアソースを収集した。
- 3) 美容デザイン演習Ⅱ:作品を制作するにあたり、森山陽氏の衣装を採用した。衣装デザイナーとの協議を行いコンセプトに沿ったヘアメイクデザインを作成した。

①衣装デザインコンセプト:「アギュネールエゴ Agyner Ego」ギリシャ語で男性はアネール、女性はギュネー。その両方と、自己、自我と言う意味のエゴ。それらを掛け合わせて作った造語。男性、女性どちらの要素も持ち、どちらにも囚われない、どちらが着ても同じ美しさになるような服を作りたい。

②ヘアメイクコンセプト:自分の中に秘めた強さや弱さを含め、育ててきたものを放つ。解放した事で新たな自分らしさを獲得する。

蝶々について:ひとつの方向へは向かうが、直線ではなく「自分に描く軌跡」。形状は自然さを排除した幾何学的な蝶をイメージし、三角の羽をもった蝶にした。

黒について:秘めた強さ。16世紀のスペイン王朝の重厚さを彷彿させる黒(図1)。これらは「芯の強い女性」をイメージした横広がりのボブは16世紀スペイン王女の髪型「インファンタ・スタイル」を想起させる(図2)。

③撮影:グレイバックの背景で、全体的にブルー系のグレートーンをイメージした。色温度が高めに写る設定で撮影。

光は曇りのような芯がない柔らかめの光。静かな世界観を演出した。頭部に透け感がある飾りをつけていたので、逆光ライトで演出を加えた。

1) SHINDO Aoi

2) OHNO Yoshiko, KIKUCHI Shinji, NISHI Masataka, KURIMOTO Yoshinori, ABE Takahiro, TOMITA Tomoko

山野美容芸術短期大学 1) 専攻科2年生 2) 教員
連絡先:〒192-0396 東京都八王子市鎌水 530

II. 作品紹介

作品の制作については以下の通りである。

1) 使用材料

針金、レジン、黒画用紙、アイライン、フェイスペイント、カチューシャ

2) 制作方法

①細い黒の針金を想定した大きさの枠になるように、編み目を構成するように、ねじり組み上げた（写真5）。

②針金をレジンを固めた。レジンには針金の形状を維持する役割と、氷のように冷たく光る効果を狙った（写真5）。

③ 画用紙を蝶々の羽に見立てて三角に切り出し、2枚を針金でつけ角度も変えられるように工夫した。

④頭部に固定するため、カチューシャを使用した。①～③で制作したピースを針金で固定した。

3) モデルの毛髪の処理: モデルのボブスタイルを利用し、シャープさと幾何学性を表現するため、ワッフルアイロンで表面にジグザクとしたディテールを作った。根本に逆毛を入れることで広がりを出し、スプレーを使用し固定した。

4) ヘッドピース作品の取り付け方法: カチューシャのみでは固定が難しく、カチューシャの前後にすき毛を入れ固定した。

5) ボトムス(ロングスカート): お借りしたトップスに合わせ、ロングスカートを自作した。プリーツを入れ台形のシルエットを作りシルバーのスプレーでペイントを施し、硬質なイメージに仕上げた。

III. 考察と今後の課題

ヘッド: 直線的でシャープなシルエットが衣装とよく調和しており、アール・デコらしいモダンさを強く表現し、ミニマルな構成が全体を引き締め、世界観を明確にすることができた。ヘアピースを固定するために追加したすき毛が見えてしまうため、小さい蝶を紙で制作して添えることでより、根本の蝶が成長し飛び立つような表現につながった。

メイク: 顔に描いた蝶は人の顔に直接描く難しさがあったが、シャープな表現ができた。コントラストを意識したメイクが印象的で、目元の強さが前衛的な雰囲気を演出し、モノトーンを基調とした色使いにより、洗練された大人っぽさを表現できた。

撮影: 構図と光の使い方によって、幾何学的で都会的なイメージが表現できることが分かった。被写体の存在感が強く、コンセプトがより明確に表現できた。

謝辞

制作にあたりご指導頂きました文化服装学院の森本慧先生、齋藤房枝先生、制作にあたりご協力いただいたデザイナー森山陽様およびモデルの今井陽梨様に心より感謝申し上げます。



図 1.
Margarita Teresa of Spain Mourningdress :
Juan Bautista del Mazo 作 (17 世紀)
WIKIMEDIA COMMONS
File:Margarita Teresa of Spain Mourningdress.jpg
(2025 年 12 月 23 日閲覧)



図 2.
Margarita Teresa, infanta of Spain :
Juan Bautista del Mazo 作 (17 世紀)
WIKIMEDIA COMMONS
File:Diego Velázquez 026.jpg (2025 年 12 月 23 日閲覧)

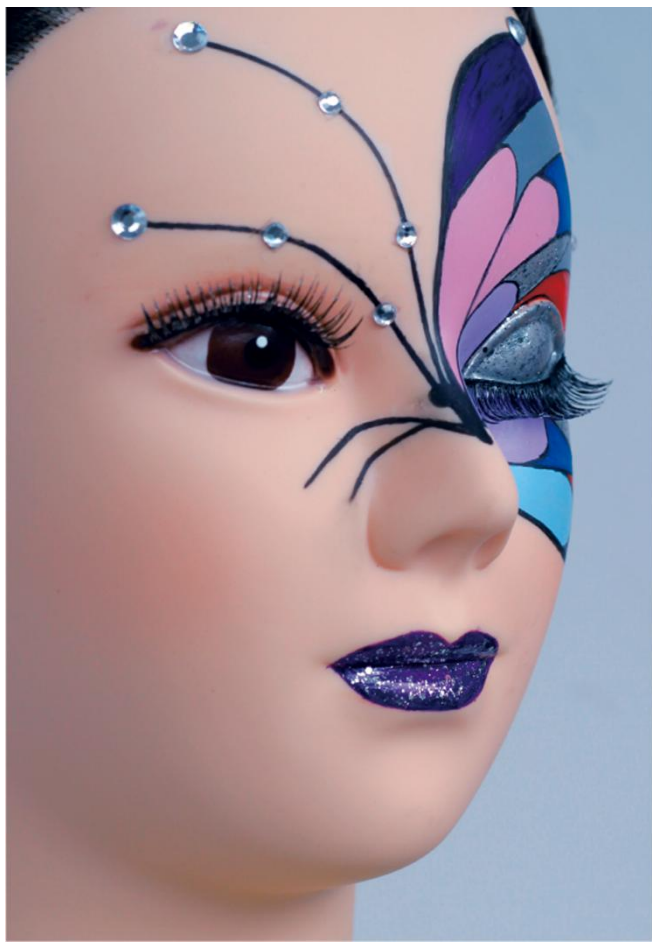


写真 1



写真 2

写真 1.2:美容デザイン演習 I での作品 タイトル : Black Charming

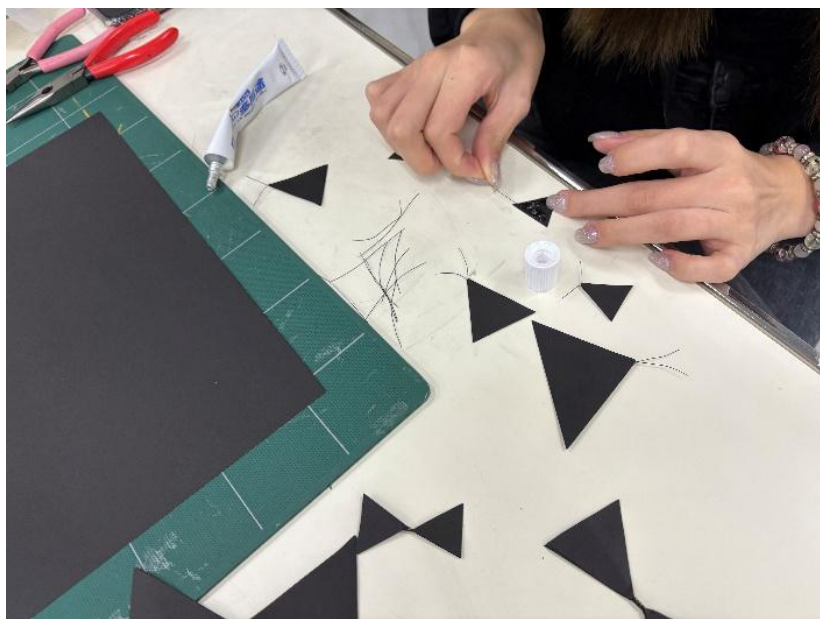


写真 3

写真 3. 黒の用紙を種類の違う三角に切り
蝶の羽を作成。針金でつなげた。

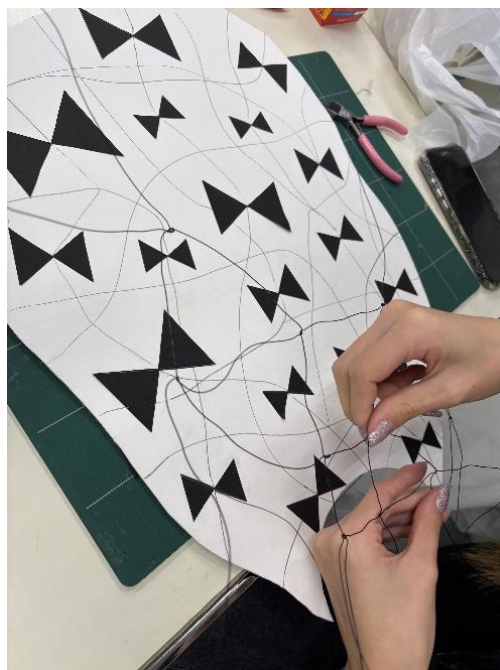


写真 4

写真 4. 下絵に合わせて針金で蝶の軌跡を
表現する編み目を制作。

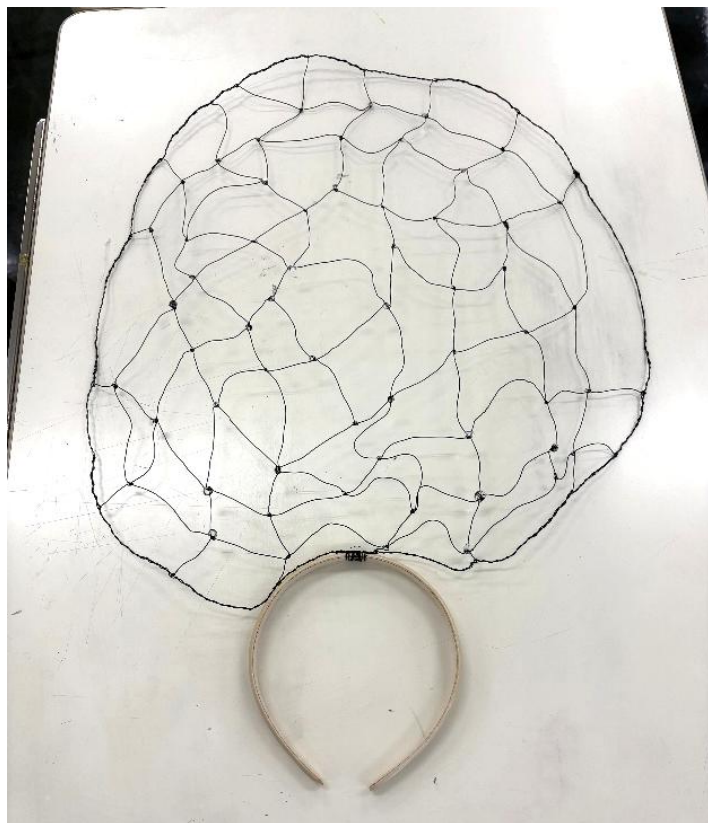


写真 5a



写真 6

写真 6 メイクはモデルウィッグでリハーサルを行った



写真 5b

写真 5a.b 完成した編み目をレジンで固めた土台を
カチューシャに結びつけ、蝶を配置した

